

貸借対照表 (B/S) のポイント

	分類	科目		分類	科目	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">下にある科目ほど「お金」になるのに、時間がかかる</p>	当座資産	現金	負債	流動負債	支払手形	
		預金			買掛金	
		受取手形			短期借入金	
		売掛金			未払金	
		有価証券			未払費用	
	棚卸資産	商品			前受金	
		製品			借入金	
		仕掛品			預り金	
		原材料			裏書手形	
	その他の流動資産	前渡し金			割引手形	
		短期貸付金			未払法人税等	
		未収入金			賞与引当金	
		立替金			—	
		仮払金			—	
	有形固定資産	前払い費用			—	
		建物		固定負債	長期借入金	
		構築物			役員借入金	
		機械装置			—	
		車両運搬具			—	
		工具器具備品			—	
	土地	—				
	無形固定資産	電話加入権		—		
		ソフトウェア		—		
	投資その他の資産	出資金		純資産 (自己資本)	資本金	
		投資有価証券			利益準備金	
		差入保証金			配当積立金	
長期貸付金		別途積立金				
保険積立金		当期純利益				
繰延資産	創業費		利益剰余金	(当期末処理損失)		

上にある科目ほど「早めに」支払わなければならない

返さなくても良い

●貸借対照表の左側

左側には「資産」が並んでいます。「資産」とは、プラスの財産です。右側に並ぶのは「負債+純資産」です。

⇒負債：返す必要のあるもの。例えば借入金。 ⇒純資産：返す必要のないもの。自己資本の別名。

左側の「資産」の項目は、お金が形を変えたもの。「お金の使い方」をあらわしています。お金が形を変えたものですから、殆どが換金価値のあるものです。科目の並べ方にはルールがあります。

上にあるほど現金に近い「資産」で、下に行くほど現金になるのに時間がかかる「資産」です。

一番上は「現金」で、次は「預金」です。預金は銀行から引き出せば現金になります。

「固定資産」はなかなかお金にはなりにくいので、下のほうにあります。

●貸借対照表の右側：負債の部

ここはお金の調達の方法、つまり「お金をどのように引っぱってきたか」を表しています。同じルールで上にあるものほど早く支払わなければならない、下にある負債は、ゆっくりと支払えばよいのです。

ですから、科目の上のほうは「流動負債」、下のほうが「固定負債」に分類されています。

一番上は「支払手形」です。期日が来れば決済せざるを得ません。出来なければ倒産してしまいます。

⇒支払手形：こちらが渡した手形。

次が「買掛金」です。仕入れ代金をまだ払っていない金額です。手形で払うか、現金で払うことになります。

払わなければ、商品仕入れが出来なくなり、事業がストップしてしまうでしょう。次に「借入金」です。

同じ銀行借入金でも、「短期借入金」とは、一年以内返済することになる借入金で、一年より後に返済すればいい部分は「長期借入金」となります。

たとえば、3,000万円を5年で返済する約束で借りたとします。この場合、一年以内に返済する金額は600万円です。したがって、3,000万円の借入金うち600万円が「短期借入金」で、残り2,400万円が「長期借入金」となります。このように、厳密に区別するのは、「一年間にいくらの借入金を返済しなければならないか」を直ぐわかるようにするためです。（一般的に銀行の言葉では、3,000万円すべてを長期借入金と言っています。）逆に言えば、「一年間に借りうる事が出来る金額」がわかります。

⇒黄色信号：一般的に借入金は年商の半分を超えてくると黄色信号とされています。1/3程度までなら、決して多すぎる会社というわけではありません。

●貸借対照表の右側：純資産の部

純資産とは、出資した資本金と今までの「留保利益」の合計額です。会社としては誰にも返す必要の無い会社自体の持分です。この「純資産」の部の金額は、大まかに言えば、もし今、この会社を解散整理したらいくらお金が残るかを表す金額です。この部分の金額が多いということは、会社の体力に余裕があるということです。

⇒留保利益：使われずに会社にためられた利益のこと。

■債務超過とは

「負債の部」の総額が、「資産の部」の総額を超える状態。つまり、資産をすべて売却しても、負債を返済しきれない状態をいう。純資産の部が「-」の状態をいいます。直接的に経営破綻を引き起こすわけではありませんが、信用力を大きく損なう（新規借入れ不可）ことから、対策が必要です。

■対策としては

⇒増資する：資本金をふやす。

⇒借入金を減らす：例えば、社長からの借入れをチャラにして、「資本金」に振り替える。負債が減り資本が増加するので、債務超過の状態を解消（軽減）することができます。